

祐天寺駅周辺地区まちづくり懇談会とワークショップを開催しました！

令和3年11月に、第2回まちづくり懇談会および第2回ワークショップを開催しました。今回は駅前広場の再整備案の検討を議題として、図面や模型を用いながら議論を行いました。

第2回懇談会 実施概要

日程：令和3年11月10日(水)10:00-12:00
会場：上目黒住区センター
参加：23名(会場16名、オンライン7名)
オブザーバー 3名



議論の様子



発表の様子

第2回ワークショップ 実施概要

日程：令和3年11月28日(日)10:00-12:00
会場：上目黒住区センター
参加：25名(※会場参加のみ)
オンラインオブザーバー 2名



議論の様子



発表の様子

整備プラン2案の比較検討をしました

駅前広場の再整備プラン2案をご説明した後、交通島縮小案・交通島なし案のそれぞれについて意見交換を行いました。参加者の皆様からは、路線バス、タクシー、荷捌き車両等の交通に関してや、交通島のあり方やみどりに関して等、様々な切り口からご意見をいただきました。

模型を用いた議論を行いました

花壇やベンチ、自動車の模型(縮尺：50分の1)を動かしながら、広さや車両の回転半径等のイメージを共有し、駅前広場の使い方を話し合いました。

今回使用した模型の土台は、今後の懇談会・説明会や社会実験の検討等でも用いる予定です



©NTT空間情報 All Rights Reserved

祐天寺駅前の衛星写真

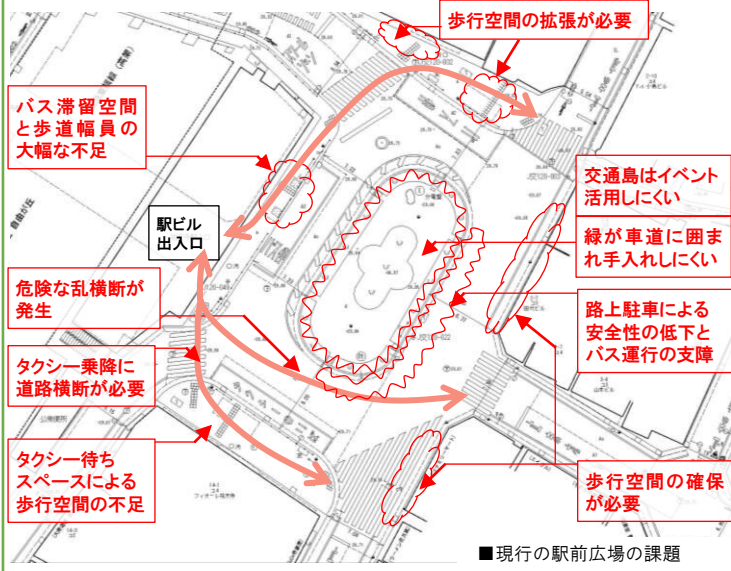


祐天寺駅前広場の課題とその検討については、次ページ！

第2回懇談会、第2回ワークショップでお示した駅前広場の再整備案について解説します。

①検討にあたっての課題

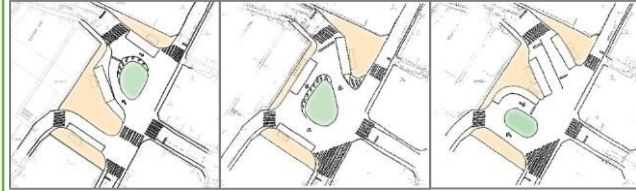
駅前広場の課題整理を行いました。



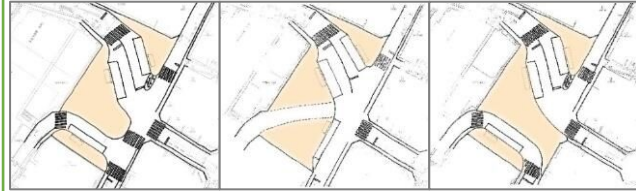
②配置パターンの検討

交通島を縮小する場合と無くす場合に分け、様々な配置パターンでの検証を行いました。

(1)交通島縮小案



(2)交通島なし案

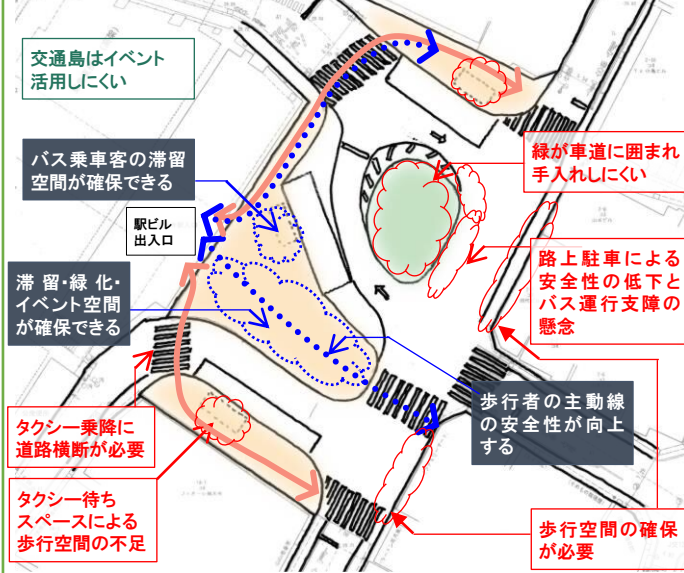


③基本的な視点と提示2案

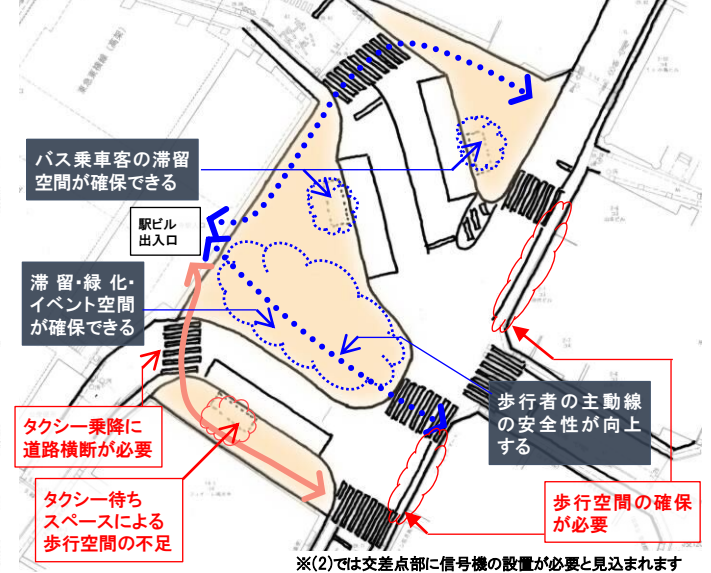
基本的な視点により各案を評価検討し、実現性の高い2案をご提示しました。

■基本的な視点	検討にあたっての優先度 ←			
0. 交通機能	1. 交通安全性	2. 乗換え (主に公共交通)	3. 快適性(歩行者、みどり等)・ 活用しやすさ(広場の使い勝手)	4. 車両交通利便性
現況の交通機能の確保 バス2台、タクシー2-3台	①歩行者動線の安全性 ②その他交通の安全性	乗換え動線や滞留空間	・休憩・待合せ等の空間等の滞留空間の十分さ ・利活用の際のオープンスペースの十分さ	アクセス経路、出発後の経路

(1)交通島縮小案



(2)交通島なし案



懇談会・ワークショップでの皆様からのご意見(3・4ページ参照)

皆様からのご意見や西村先生の助言(→p.3参照)を反映しながら、実現に向けた検証と計画の見直しを進めます。



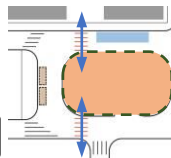
(1) ロータリー（交通島）に関する意見

多くの参加者からの意見： 交通島の段差をなくしフラットにすることで、様々な使い方が検討できる

ロータリーは残した方が便利

事故や災害時に折り返し
できないのは危険では？

交通島が小さいと、
自動車は使いにくい



信号機は設置しない方が良い

現形状での利活用

滞留空間を広く確保した方が良い

駅前の歩行者空間を広げたい

イベントでも利活用できるように
したい

(2) 荷捌き車両・送迎車両（自家用車）に関する意見

荷捌き車両



周辺店舗の荷捌き車両の路上駐車が課題として
ある

交通島は緑化以外の使い道はないか

朝の時間だけ荷捌きに用いる等

高架下スーパーの買い物客のロータリー内
への駐車を誘発している

交通島は荷捌きに使わない方が良い

荷捌きの時間帯別制御等の工夫

送迎車両



病院への送迎バスの場所を
確保した方がよい

送迎のための自家用車の駐停車が多い

交番機能を目の届く所に配置できないか

(3) 公共交通（路線バス、タクシー）に関する意見

路線バス



駅通りのバスの
すれ違いを回避したい

バスの小型化

タクシー

タクシーはアプリを活用する
ことで、停車台数を減らせる

タクシーが遠回りになる
五本木方面に行きづらくなる

高齢者等でアプリを使えない
人もいる

一方通行の方向を変更できないか

ロータリー内にタクシーの駐車場所を作る



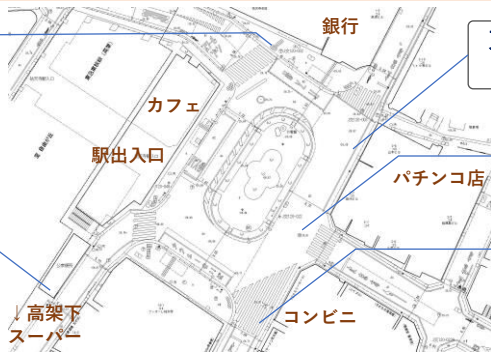
(4) 歩行者安全性・周辺交通に関する意見

銀行前的高架下歩道を広く

周辺住宅街への車の流入が増える
のではないかと

高架下スーパーへ向かう道は歩
行者が多く、通過する自動車が増え
ると危険

広場と車道の段差をなくしたい
歩行者にも自転車にも安全



東側パチンコ店前
の歩道を広く

裏道を使う
ことも多い

ロータリーがあると駅通りからの
車両が減速する効果があり安全

コンビニ前の交差点は自転車、バ
ス、歩行者が錯綜して危険なので
解消したい

西村先生より<シェアドスペースとは？>

歩道と車道を分離せず、視覚的な操作等により
歩行者と自動車の共存環境を作る方法です。

関係機関との調整も必要になりますが、ポラード
（車止め）や舗装デザインを工夫することで、歩
行者空間をより豊かにすることも検討できます。



事例：愛媛県松山市 道後温泉駅前



国土館大学
西村 亮彦 先生

(5) みどりやデザインに関する意見

季節の花を楽しみにしている人もいますので、花壇を縮小しすぎるのも良くない

みどりは交通島でなくても、歩行者空間（カフェ前等）に残したい

可動式や組み立て式の花壇・プランターが柔軟に利用しやすい

駅前にシンボル性のあるものがほしい



カフェ前にテラスがほしい

道路のデザインも工夫したい

歩行優先のデザインにする

歩行者空間は明るめの色の舗装

シェアスペース（→p.3）を反映したデザイン

車道との境界を色塗りで分ける

(6) 日常的な利活用に関する意見

ベンチ等は不要

日常的に人が集まるのは、通勤・通学時のみで、ベンチに長時間座っている人は少ない

ベンチ等はあった方がよい

そもそも座る場所が少ない

花壇とベンチが一体化していれば、みんな座るのではないかと

植栽やベンチは可動式がよい

飲酒等目的の溜まり場にならないように、管理・運用が大切

子供の居場所が欲しい

一気に周囲の子供が集まると自動車との接触が危険

日常的にも交通島部分を活用できないか（→p.3）



(7) 催事での利活用に関する意見

周辺でイベントができる場所や、ベンチはある

駅前だけではなく周辺（商店街など）とのつながり

周辺のイベントへのきっかけづくりとして、小規模なものは駅前でも実施してもよいのでは

イベントよりも日常的な歩行のしやすさ等を考えたい

交通・安全性の整理ができると非日常の利活用の検討につなげられる

賑わいを新しく作りながら、交通環境も改善したい

(8) その他

まず実証実験を実施してみよう

屋根で人の動きをコントロール

駅ビルとの一体的な検討も必要

紙面の都合上、参加者の皆様からの意見を集約して掲載しています。懇談会・WSの全意見は目黒区ホームページにアップされていますので、ご参照ください。
<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/yuutennjeki/yutenjimati.html>



次回の懇談会と説明会の予定について

第3回懇談会と説明会を以下の日程にて開催予定です。開催状況や開催結果については、下記ツイッター、及びまちづくりニュースでお知らせいたします。

第3回 懇談会

日程：令和4年1月26日 水曜日

内容：・駅前広場基本計画（たたき台）の検討
・次年度に向けて

駅前広場基本計画に関する説明会

日程：令和4年3月13日 日曜日

内容：・取組経緯 ・駅前広場プランの概要

申込：区報3月1日号、ホームページをご覧ください。



オンライン参加
お申し込みフォーム

第3回懇談会では、オンラインでご視聴可能な方法を用意いたします。ご希望の方は開催3日前までに、左記QRコードからお申し込みください。

最新情報はこちら：<https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/yuutennjeki/matidukuri.html>



【祐天寺駅周辺まちづくりに関する問合せ】

目黒区都市整備課街づくり調整係

〒153-8573東京都目黒区上目黒2-19-15

Eメール：yutenji-04@city.meguro.tokyo.jp

TEL：03-5722-6846

FAX：03-5722-9239

祐天寺のまちづくりに関する 取組みをツイートしています

皆様に取組み状況をリアルタイムにお伝えするため、目黒区広報課のツイッターアカウントにて情報を発信しています。



アカウント名：@meguro_city

URL：https://twitter.com/meguro_city/

